

令和7年登米市議会定例会 2月定期議会 代 表 質 問 一 覧 表

質問 順位	会 派 名 議 員 名	質 問 事 項	質 問 の 相 手
1 番	新・立志の会	施政方針について (7年度特に力を注ぐ取組の方向性)	市長
	18番 岩 淵 正 宏		
2 番	大地の会	施政方針について	市長 教育長
	15番 佐々木 幸 一		
3 番	太陽・みらい21	施政方針から問う	市長
	25番 氏 家 英 人		
4 番	日本共産党市議団	施政方針について	市長
	5 番 鈴 木 実		
5 番	NEXT	1. 市制施行20周年記念式典について 2. 施政方針における市政運営の7つの軸について 3. 令和7年度の当初予算について	市長
	1 番 熊 谷 康 信		

令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会

会派名【 新・立志の会 】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の 2 第 2 項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年 2 月 4 日

登米市議会議長 様

質問者 18 番議員 岩 淵 正 宏

質 問 事 項	施政方針について（7 年度特に力を注ぐ取組の方向性）	質 問 の 相 手	市長
質 問 要 旨	・ 安心して暮らせるための物価高対策で、「本市を取り巻く情勢に応じた支援策に取り組む」（P6）とあるが、財源はどのように捻出するのか。		
	・ 災害に対する備えで述べられたことは、国・県頼りの方針と感じた。財源を考えれば致し方ないが、市ができる安全対策の取組は。（P6～7）		
	・ 「上下水道の有収率の向上に努める」と述べられている。本市は地下水脈の多い土地と認識しているが、人工衛星を活用した漏水調査の精度は。水道管等と関係のない箇所まで、漏水と判断され、無用な調査をせざるを得ないことの心配はないか。（P11）		
	・ 脱炭素化の取組で、水稻栽培における中干し期間の延長が J クレジット制度に承認されたとある。すべての稲作農家が対象か。また、農業者の所得向上にもつなげていくと述べているが、クレジット販売収入 10 アール当たりの試算額は。（P12）		
	・ 地域医療の充実で、今後の市立病院の在り方を検討するとのことだが、市民病院新築に向けての検討と理解していいのか。（P15）また、市民病院検討委員会から意見をいただき、令和 7 年度内の策定を目指すとしているが、(仮称) 地域交流センターのように市長の強い思いを示すべきと思うが。（P16）		
旨	・ 学校再編は児童生徒減少のため、避けては通れないものと認識する。学校に行けない子、いじめ対策、部活動の地域移行、閉校後の学校利活用の方向性が語られていないが、力を注ぐ取組とは言えないのではないか。（P18）		
	・ 人口減少対策について、「二地域居住の推進」が語られた。過疎化で空き家が進む地域にあっては是非取組まれたい方針と思う。来なくなる仕掛けを作り、各地域コミュニティとの連携が不可欠となる。また、地域おこし協力隊の活用も考えられるが、具体的な計画を伺う。（P19）		

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

質 問 要 旨	・「若者のアイデアを後押しするまち」は、いい取組と感じている。若者の柔軟な発想で、まちづくりに参画しているという思いの醸成は、これからの登米市にとって必要なことである。補助金制度はイベントに対してだけではなく、若者が主導して開く勉強会や講習会・研修会などへの支援としても必要と思うが。そして、担当課だけの事業とせず、各町域の教育事務所なども巻き込む全市的な取組が必要と考えるが。(P20) ・(仮称) 地域交流センター整備については議会でも特別委員会を設置している。具体詳細な設計業務についての議論は、改選後の議会においても行われるものと思う。建設に至るまで、時限立法である合併特例債の活用が財政面からも有利になることを、もっと市民に理解できるよう情報提供すべきと思うが。(P22) ・産業振興については、最も力を注がなければならない分野と思う。農業、林業、商工業、企業誘致、観光と、多岐に方針を示されたが、農地が大区画になればなるほど離農者も増え、働く場の確保が必要になるのではないだろうか。工業団地のみならず空き公共施設への企業誘致も積極的に進めるべきと思うが対応策は考えているのか。(P22～28) ・健康なまちづくりの中で、高齢者福祉では認知症施策について語られている。「地域で支え合いの推進」とあるが、地域で支えることが難しくなっているのではないか。認知症対応型の施設増床に対する支援やそこで働く職員の育成などの充足率向上の支援策を考えるべきと思うが。(P30～31) ・効率的な行財政運営で、財政調整基金を 12 億円積み増したことは事実ではあるが、各種補助金の減額や、公共料金・利用料・使用料など受益者負担をお願いしてきたことも一部要因の一つとしてある。議会も承認したことではあるが、市のやり繰りで積み増した分、受益者負担で積み増しに影響した分の内訳は。 最小の経費で最大の効果となることを願うものである。今後大型事業が目白押しになっていくことから、これ以上市民負担を強くないという発信をしていただきたいがどうか。(P33) ・最後に、市制施行 20 周年記念事業について、大金をかけたイベント型の記念事業は必要かもしれないが、同じ予算をかけるなら後々残るものを提案したい。例えば、各町域をイメージした「ゆるキャラ 009」の作成をしてはどうか。迫町はオランダ風車をモチーフにしたゆるキャラ、豊里は釜神、石越はアジサイ、津山はイナイリュウ、中田はきゅうり、南方はもっこりにら、米山は丸山権太左衛門、登米は尋常小学校、そして東和は水かぶりなど、今後各イベントにも利用でき、登米市の名物、特産、名所などの紹介も兼ねて活用できるのではないか。検討の余地はあるか。(P 4)
-------------------------------------	--

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会

会派名【 大地の会 】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の 2 第 2 項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年 2 月 4 日

登米市議会議長 様

質問者 15 番議員 佐々木幸一

質 問 事 項	施政方針について	質 問 の 相 手	市長
			教育長
質 問 要 旨	1. 安全・安心に暮らせるまちづくり ・各地区の地区防災計画作成を支援し、登米市地域防災計画と連携した地域全体の防災力向上を図る考えはないか。		
	2. 地域医療の充実 ・経営改善に向けた取り組みのポイントをどのように考えているか。 ・登米市民病院整備基本方針の策定に向けた検討で、市民に求められる病院のあり方、医療機能をどう考えているのか。		
	3. 教育振興 ・登米市学習スタンダードの実践と全国学力・学習状況調査における全国平均との差の原因と対応は。		
	4. 人口減少対策 ・（仮）地域交流センターを人口減少対策の「核」として位置付けているが、その核を中心に、効果的な人口減少対策をどのように結び付けるのか。		
	5. 産業振興 ・令和の米騒動と言われた令和6年だが、令和7年産の主食用米における生産の目安を達成するための取組みと転作作物（新規需要米含む）の作付け方針はどうなるのか。 ・中小企業・小規模事業者の約3割が廃業を検討とあるが、具体的な支援策はあるのか。 ・新森林組合設立が協議されているようだが、林業振興にどう結びつくのか。		

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

質 問 要 旨	6. 効率的な行財政運営 ・財政の健全性を維持してきたとあるが、今後予想される多額の財政需要に対して財政の健全性を保ちながら事業を進められるのか。
----------------------------	--

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会

会派名【太 陽・みらい 21】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の 2 第 2 項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年 2 月 4 日

登米市議会議長 殿

質問者 25 番議員 氏家 英人

質 問 事 項		質 問 の 相 手	
	施政方針から問う		市長
質 問 要 旨	令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会初日、市長による施政方針が市民に向けて行なわれた。施政方針とは、首長が予算議会の冒頭に、新年度 1 年間の自治体運営の基本方針や政策について説明を行う場であり、当初予算の提案理由を市民に向けて述べる場でもあると認識しているが、本年 4 月に 2 期 8 年の任期満了を迎える市長が自身の進退について「次期 4 年についても、引き続き市長として市政運営の重責を担わせていただきたい」との 3 選出馬表明での「結び」としていることは、市民の想像を超えた施政方針ではなかったかと感じている。 また、令和 7 年度の当初予算については、市長、市議会議員の改選年度であることから、本来は骨格予算となるが、市長は「3 期目の市政運営を見据えての当初予算計上であろう」と我が会派（太陽・みらい 21）は考えている。		
	そこで、施政方針からは窺い知ることができなかった市長の政策、政治姿勢について問う。		
	1) 市政運営 7 つの重点施策から抜粋して ①地域医療の充実 人口減少社会の中、今後も本市に 3 つの市立病院は必要か。 また、老人保健施設の民営化についての考えはあるのか。 さらに、令和 7 年度内に策定する登米市民病院整備基本方針では、施設の移転新築を目指しているのか。		
	②人口減少対策 本市では移住・定住促進に向けた様々な取組を実施しているが、他自治体での取組とさほど変わらないのが現状ではないかと考える。人口減少、少子高齢化は日本社会の流れと受け止め、今、本市で暮らしている人々が幸せを感じることでできる政策に比重を置くべきではないか。		

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

質 問 要 旨	③ 産業振興 市内３つの森林組合が、令和８年４月の新森林組合設立を目指し、合併協議が進められている。一方、商工会は未だ３つの商工会のままであるが、本市としてどう考えているのか。 ④ 令和７年度の当初予算 骨格予算を基本としながら、ゼロベースからの事業精査に取組み計上したとのことであるが、取りやめ及び減額・縮小した事業や施策は何か示されたい。 ２）熊谷市政８年間の自己総括について ① 市長は議会との関係について良好であると思っているか。 ② 市長在任８年、自己採点で何点をつけるのか。 ③ 市長としての実績を３点挙げるなら何か。 ④ ３選出馬への意志はいつ固めたのか。 以上、会派：太陽・みらい 21 の第一質問とします。
----------------------------	--

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会

会派名【日本共産党市議団】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の 2 第 2 項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年 月 日

登米市議会議長 様

質問者 5 番議員 鈴木 実

質問事項	施政方針について	質問の相手	市長
質問要旨	施政方針について		
	1. 安全・安心に暮らせるまちづくり 「困難に直面した皆様への生活支援」、「地域応援商品券事業や燃料券事業の実施」、独自支援としては「保育施設への給食用食材と光熱費の価格高騰対策支援」を行ってきたことを示されました。 日本共産党市議団が行った市民アンケートには市民 220 人から回答があり、新型コロナウイルス感染症の蔓延による活動自粛などを受けて、85.7%の市民が「生活が苦しくなった」と答えています。この実情をどのように受け止めているか伺います。 また、今年度は受益者負担を旗頭に様々な面で市民への負担増を求めてきましたが、施政方針ではそのことに触れていません。今後も市民の負担増を求めていくのか、伺います。		
	2. 地域医療の充実 昨年、教育民生常任委員会で登米市民病院の建屋を視察しました。建屋の老朽化は進んでおり、構造的弱点が指摘される中で、今後の施設整備の方向性については言及がありませんでした。現在の方向性を伺います。 また、老人保健施設事業については、望ましい経営のあり方の検討とありますが、具体的にどういうことかお示し願います。		
	3. 教育振興 学校再編や ICT 教育について述べられておりますが、「登米市子ども子育て条例」との関連性には触れられておりません。この条例をどのように教育に織り込んでいく考えなのか伺います。		

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

質 問 要 旨	4. 人口減少対策 人口減少対策は本市全体の課題と考えますが、立地適正化計画で示す地域拠点の活性化と移住定住の取組に踏み込んだ方針が示されておりません。 現時点での具体的な考えについて伺います。 5. 産業振興 農地集約とスマート農業の推進が主眼となっています。小規模農家や家族経営農家の維持については、どう考えているのか伺います。 6. 効率的な行財政運営 登米市公共施設等総合管理計画では、令和 17 年度までに、公共施設等の総保有延床面積を 25%縮減することを目標としています。 現在の縮減達成状況並びに目標達成の見通しについて伺います。
----------------------------	--

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

令和 7 年登米市議会定例会 2 月定期議会

会派名【 NEXT 】代表質問通告書

次の件について、登米市議会会議規則第 64 条の 2 第 2 項の規定により代表質問の通告をいたします。

令和 7 年 2 月 4 日

登米市議会議長 様

質問者 1 番議員 熊谷 康信

質問事項	1. 市制施行 20 周年記念式典について	質問の相手	市長
	2. 施政方針における市政運営の 7 つの軸について		市長
	3. 令和 7 年度の当初予算について		市長
質問要旨	本年は、市制施行 20 周年の節目の年になります。 この間、市として様々な課題に向き合い、解決に至らないまでも市民に寄り添う施策の施行を重ねてまいりました。その多くが市の独自政策によるものであったかと問われれば、国や県からの補助金頼りの施策ではなかったと捉えており、本市独自の政策的政治によって市民の満足度向上は果たしてきたのかどうか疑問であります。この節目の年となる本年こそ、市民にさらに寄り添える行政サービスを果たす基盤づくりが大切なのだと感じております。 そこで、施政方針で掲げられた市長の思いを、大綱 3 カ件について伺います。		
	1. 市制施行 20 周年記念式典について 令和 7 年 4 月 6 日に予定している式典は、どのような方々をお招きして開催することとしているのか伺います。		
	2. 施政方針における市政運営の 7 つの軸について (1) 安全・安心に暮らせるまちづくりについて 近年の異常気象により全国で頻発している線状降水帯による集中豪雨や、いつ起こるかわからない大規模地震などに対し、被害をできるだけ小さくするための手立てを打つことが重要と考えます。しかしながら、市長は行政庁舎を令和 4 年 7 月の内水被害にあった佐沼中江に建設しようとしており、このことは防災・減災対策の趣旨とは程遠いものと思いますが、その考えを改めて伺います。		
	(2) 地域医療の充実について 市立 3 病院の機能分化や連携強化をさらに進めることで、今後の病院経営はどのように好転していくと想定しているのか伺います。		
	(3) 教育振興について 学力調査の結果を指導に活用するとされておりますが、具体的な手法について伺います。 また、「いじめや不登校などへの対応については、引き続き云々」とありますが、具体的な施策展開が必要ではないかと考えることから、見解を伺います。		

※ 質問要旨は具体的に書いてください。

質	(4) 人口減少対策について 子育て支援の中で、「幼保連携型認定こども園の整備を継続し、保育環境の充実に努めてきた」とあります。本来、認定こども園は、年齢に応じて保育と幼児教育を一体的に行う環境でなければなりません、幼児教育の側面が弱いと感じており、それが結果として小1プロブレムの温床となっているのではないかと考えます。その懸念を払しょくするためにも、教育環境の改善が必要と考えますが見解を伺います。 また、中心市街地の活性化の中で、「かつてのにぎわいが失われつつある厳しい状況にあることから、まちのにぎわいを創出すべくまちづくりの核となる（仮称）地域交流センターを整備する」としておりますが、建物が建ったからといってにぎわいが創出されるものではないのでしょうか。どのようにして市内外からの多くの皆様に集っていただき、にぎわいを創出していくのか伺います。
問	(5) 産業振興について オーガニックビレッジ宣言について本市農業の強みをうたっているが、担い手の確保も最重要課題と捉えていると話されました。有機農業は手間暇をかけてこそ成しえる技術であります。広大な農地をいかに担い手に引き継いでもらえるかがカギとなっている現状で、そのような労力をかけることは相反するものではないかと思いますが、本市農業が目指すのはどのような経営体だと考えているのか、見解を伺います。 また、企業誘致については、長沼第二工業団地の2区画への立地に向け市長自らがトップセールスを行っているとのことでしたが、こういった業種に何度足を運ばれたのか伺います。
要	(6) 健康なまちづくりについて 高齢者福祉については、高齢化の進展に伴い認知症の方が増加することが見込まれている中で、その問題を家族で抱えてしまっていることや介護者に対する支援が不足していることが課題となっていると述べられましたが、その課題解決に向けた具体的な施策について伺います。
旨	(7) 効率的な行財政運営について 登米市公共施設等総合管理計画で掲げた「保有総延床面積を令和17年度までに25パーセント縮減」に向けた現段階の達成率と今後の想定している展開を伺います。 また、歳入確保の取組の中で、「ふるさと応援寄付金の寄付実績について大幅な伸びを記録した」と述べられましたが、満足度をお伺いします。 3. 令和7年度の当初予算について ゼロベースからの事業精査に取り組むとはどのような意味合いなのでしょう。 また、市長及び市議会議員の改選年度であり、本来であれば骨格予算にとどめるところと考えます。さらには住民投票をすべきと声を上げている市民がいる中で、市民のニーズや理解醸成が図られていないのではないのでしょうか。 そのような中で、政策的予算である（仮称）地域交流センター整備事業の計上はいかがかと考えますが、見解を伺います。

(4) 人口減少対策について

(5) 産業振興について

また、企業誘致については、長沼第二工業団地の 2 区画への立地に向け市長自らがトップセールスを行っているとはありましたが、こういった業種に何度足を運ばれたのか伺います。

(6) 健康なまちづくりについて

(7) 効率的な行財政運営について

また、歳入確保の取組の中で、「ふるさと応援寄付金の寄付実績について大幅な伸びを記録した」と述べられましたが、満足度をお伺いします。

3. 令和7年度の当初予算について

また、市長及び市議会議員の改選年度であり、本来であれば骨格予算にとどめるところと考えます。さらには住民投票をすべきと声を上げている市民がいる中で、市民のニーズや理解醸成が図られていないのではないのでしょうか。

そのような中で、政策的予算である（仮称）地域交流センター整備事業の計上はいかがかと考えますが、見解を伺います。

※ 質問要旨は具体的に書いてください。